

## Exhibition

{ 砲台跡常設展示 }  
井上寧音(絵画)  
井上萌百(絵画)  
遠藤 翔真(写真)  
かおなしまちす(絵画)  
桑原ひな乃(彫刻)  
Sho Okubo(木工)  
西田稔彦(写真)  
Rina Nakano(写真)  
yookorususakurai(インスタレーション)

{ 弾薬庫跡常設展示 }  
音楽\_映像作品  
MADZINE × yookorususakurai

## Licht stair

砲台跡の螺旋階段では、  
光と祈りの演出をおこないます。  
多くの方の心向けと祈りを以て  
完成する作品となります。

## Performance

11.23 & 25 18:00-

アートパフォーマンス  
「100年後の芽吹き」  
Rina Nakano\_yookorususakurai  
@弾薬庫跡

## Food&Drink

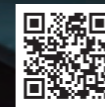
砲台跡の階段上の  
ルーフトップスペースにて  
佐伯の美味しいフードと  
ドリンクをお楽しみいただけます。

## Shop

アーティストの作品はご購入いただけます。  
また、ショップにてアーティストのグッズや  
鶴見のオリジナルプロダクトもご購入  
いただけます。

## information

### TANGA Night museum



場所: 丹賀砲台園地  
大分県佐伯市鶴見大字丹賀浦577

2023年11月23日(木・祝) - 11月27日(月)

開場16:00 閉場21:00

入場料: 800円/人 ※高校生以下無料

※ご予約は不要ですが、20名以上の  
団体の場合は佐伯市鶴見振興局まで  
ご連絡をいただけますと幸いです。

※駐車場は施設内にご覧いただけます。  
※当日、付近はとも暗いので、  
気をつけてお越しください。  
※展示場までケーブルカーで上がります。  
車椅子の方などをご相談ください。  
※会場・各アーティストの作品どちらも  
写真撮影は可能ですが、ご来場者の方や、  
アーティストの作品へのご配慮をよろしく願っています。  
※いぬねご家族について / 音響や人が多いなど、  
怖いと感じる可能性があります。大丈夫でしたら同伴可能です。  
吠えや排泄、作品や他のお客様へのマナーアップへの  
配慮をお願いいたします。(マナーパンツ、リード着用、抱っこ等)

{ 協賛 } 大分県

{ 協力 } 砲台を守る会 / 鶴見地域観光再生プロジェクトチーム

佐伯市観光協会鶴見支部 / 佐伯市鶴見振興局

大分県デザイン協会 / design:unid株式会社

coverphoto:西田稔彦 / 総合演出:櫻井暢子

{ 主催 } 鶴見地域創生支援協議会

事前のご質問などは佐伯市鶴見振興局まで  
tsurumi-tiiki@city.saiki.lg.jp (担当:休坂)

→最新情報はこちらから



instagram  
@reframe\_  
tsurumipeninsula



facebook  
イベント  
ページ

# 2023.11.23⇒27

# 16:00 ⇒ 21:00

## EXHIBITION

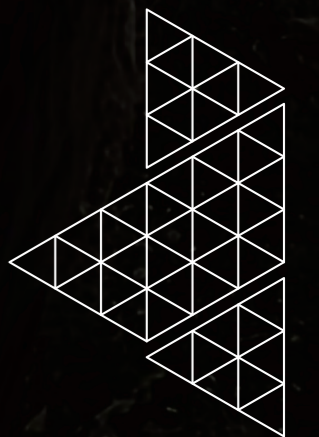
at Tanga battery ruins Tsurumi Peninsula  
@大分県佐伯市 鶴見半島 / 丹賀砲台園地

# TANGA Battery ruins Night museum

あなたはここで、  
何を観るだろうか。

Momo Inoue  
Nene Inoue  
Shoma Endo  
Kaonashimachis  
Hinano Kuwahara  
Sho Okubo  
Rina Nakano  
Toshihiko Nishida  
MADZINE  
yookorususakurai

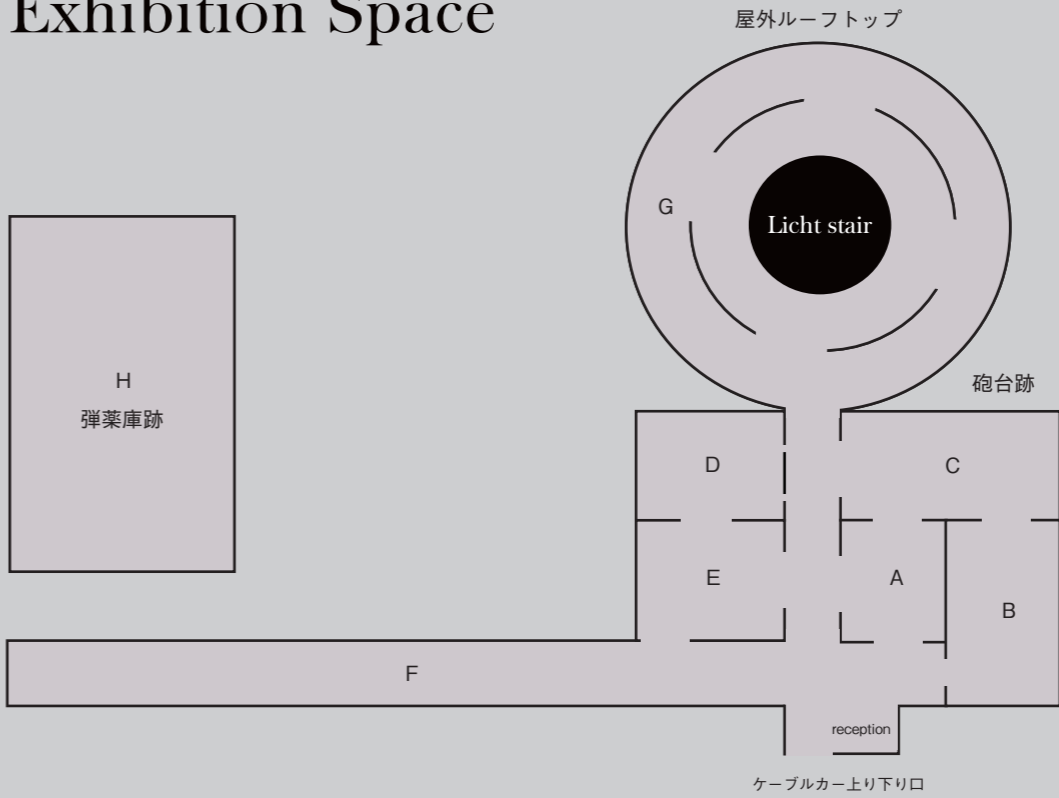
Exhibition by 10 artists



Evolving as  
it is, silently  
Peninsula of  
"TSURUMI"  
Saiki city Oita prefecture JAPAN.

# TANGA Battery ruins Night museum

## Exhibition Space



Tanga Night museum では、10人のアーティストにより上記 A-H の場所で展示が行われます。H の弾薬庫跡はケーブルカーで登る前、入り口の左側に。A-F はケーブルカーで登った先にある砲台跡を展示の場としました。実際砲台があった螺旋階段のある場所には、Licht stair（光の階段）という来場者の皆さんとつくりあげる祈りの場所があります。Licht stair をのぼると屋外ルーフトップに出ることができ、佐伯ならではのドリンクやフードとともにゆっくりお過ごしいただけます。

佐伯市鶴見半島にある丹賀砲台跡。この砲台跡は、太平洋戦争勃発直後の実射訓練の際、発射した弾丸が腔発し 17 名の尊い命が失われた記憶を持つ戦争遺構です。

この場所で、「hanamuke - 驢 -」というコンセプトのもと、この地にゆかりあるアーティストに参画いただき、“ありのままでありつづける” 鶴見という感性に触れるこれまでにないエキシビションを開催します。たくさんの方にこの場所への心向けをいただけることを願っています。

主催者より 鶴見地域創生支援協議会 赤峰秀

鶴見では平成 30 年度から、芸術家、建築家、地方創生コンサル及び地域住民を巻き込み「鶴見地区観光再生 project チーム」を立ち上げました。この project は、従来型のステレオタイプの観光引いては地域振興のスキームでは、抜本的な効果が薄いと判断し、鶴見地域全体を reframing（リフレーミング: 事の捉え方を変え、別の枠組みで捉え直すことを指す。ネガティブな考えや、短所・欠点として見えていることも、物事の捉え方を変えて考えることで、長所や利点として捉えられるという思考）で議論し実装してきました。鶴見地域全体を reframing するこの project はこれまで多くの時間をかけて、関係者の熱く温かな思いと、地域の方の絶大な協力による現在進行形の project であり、我々にとって、かけがえのないものです。今回の TANGA Night museum もその project の一環であります。鶴見は静かに粛々と変化を続けています。お金で買えるホスピタリティはありませんが、爽やかな海風と大自然、そして温かな地域の人々が歓迎いたします。そして新進気鋭のアーティストが魂を削って表現したアートに触れ、あなたの心が揺り動かされることを期待しています。

### 総合演出より

わたしはこれまでこの世界の不思議さや、あらゆるものの奥に眠ったパワフルさを発見しながら仕事をしてきました。社会という世界と自然という世界のもつ感覚の違い、自分というどちらにも属するものがその中で多くの違和感と快感に流れていること、それはざまで揺らぐ“自分”とは何か。自身の本流を探索する中で、あらゆるものを只々包み込んでいる鶴見に出会いました。良い悪いのジャッジメントのない、ただそこにありありと美しく存在する鶴見。この場所に訪れ、アートに接触したときに生まれるネガティブさもポジティブさもあなたのなかにあるかけがえのないものであることを肯定して欲しいと思います。自分の中にある光のようなものを、この場所で見なさんにもめいっぱい体感していただけたらとても幸せです。

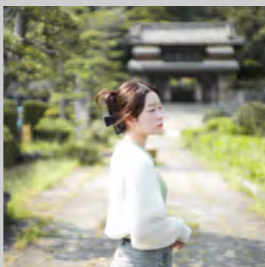
### yookorususakurai

櫻井暢子（さくらいようこ）  
芸術家 / 詩人。1983年愛知県生まれ。中学生の時に思いついた技法（ペン画）や手描きの図形、カリグラフィー、ポセリン、インスタレーションなど、その時のテーマから手法を選び作品を制作している。現在はベルリンと日本を拠点に活動。平成30年鶴見のリフレーミングプロジェクトに参画。  
unid（ユーンテ）株式会社のファウンダー・代表取締役。  
Instagram: yookorususakurai



### 井上寧音 Nene Inoue

2002 年大分県佐伯市生まれ。大分県立芸術緑丘高等学校出身。高校時代より油絵を専攻し、現在も油絵で作品を制作しています。人の内面的な部分の、目に見えないが確かに感じる、刻一刻と移ろいゆく感情の様子に強く惹きつけられています。自分の内面を深く見つめて、浮かび上がる感情の不安定さや曖昧さ、繊細さを丁寧に拾って描きたいと思っています。  
instagram: inoue\_nene



### 井上萌百 Momo Inoue

2004年大分県佐伯市生まれ。大分県立芸術緑丘高等学校出身。幼い頃から美しい色彩や人物を描くことが好きで、姉の背中を追いかけて芸術緑丘高校に入学する。高校では油画を専攻し、主に人物画を制作した。油絵具ならではの重厚感あるテクスチャーや、色味の僅かな差異で人肌の美しさの追求に努めた。作品を作ることは、胸の奥にしまっていた行き場のない感情の慰めに近いと感じる。それに伴い作品を通して見てくださる方の心を慰め、少しでも癒すことが出来たらいいと思う。  
instagram: moo.illl



### 遠藤 翔真 Shoma Endo

1998 年、津久見市生まれ。北里大学 海洋生命科学部卒業。祖父が趣味で写真を撮っていたことがきっかけで、大学の写真部に入学し、本格的に写真を始める。偶然手したオールドレンズにより、光に対する描写の違いを知り、写真そのものよりも光やレンズの描写に対して興味を持つようになった。現在は特に撮影対象を定めておらず、建築、離島、陰影礼賛などをキーワードに各地をスナップしている。



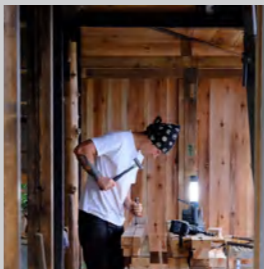
### かおなしまちす (齋藤由依) | 現代美術家 |

1987 年生まれ。大分県出身、別府市在住。2012 年より、かおなしまちす名義で活動開始。名前の由来は、かおなし=タッチを固定しない、まちす=好きな映画の主人公から。アングラな世界観で個展や奇抜なライブイベントを開催。8年間のアルバイト生活を経て、2019 年より画家業を生業とする。現在は、“全ての人の生き方を肯定する” をコンセプトに別府にて作品制作を行い、県内外に向けて意欲的に発信中。  
Instagram: kaonashimachis



### 桑原ひな乃 Hinano Kuwahara | 現代美術家 |

1997年大分県生まれ。2019 年京都造形芸術大学美術工芸学科卒業。漁師町出身の私は、錆びた鎚や鎖など鉄製の道具を日常的に見ながら育った。ものにある様々な痕跡を観察することで、そこに宿る記憶や人間の営み、時間の蓄積を感じる。私の彫刻もまた、溶けた鉄を少しずつ積み重ねながら造形し、ものに宿る不可視の時間やエネルギーの可視化（彫刻化）を試みたものである。主な展覧会に「Art Fair Beppu」(旧フェリーさんふらわあ乗り場、大分、2023) など。2019 年よりスターバックスコーヒー別府公園店にて作品が恒久設置される。  
instagram : kuwahara0107



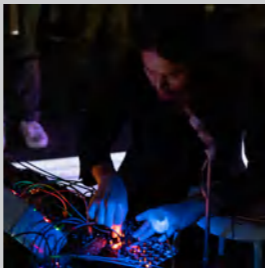
### Sho Okubo

1986年東京生まれ。24 歳から大工として活動をはじめ、2018 年よりベルリンにてフランス人アーティストのもとでインスタレーションアートを学ぶ。日本の伝統構法とアートの融合をコンセプトに手作業にこだわり、カスタムファニチャー、古民家再生から店舗デザインまで国内外の仕事を手掛ける。今回の展示会では、作品展示に加え、展示台の制作や全体の設営にも携わる。  
Instagram: shoass



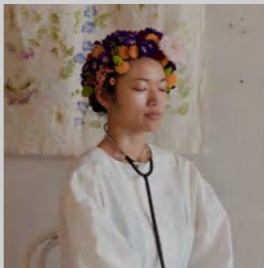
### 西田稔彦 Toshihiko Nishida

竹田市生まれ。教師であった竹田市出身の祖父と台湾人の祖母をもつ。父は司法書士。大学を卒業し、株式会社 地域科学研究所に入社。20代よりライフワークとして、ブラジル、スペイン、ポルトガル、ベトナム等を巡り、ジェットグラフィー、写真展を開催。現在は、公共イノベーション&サポート事業部に所属し、地域の価値創造を図る。さまざまなプロジェクトに取り組む。  
Instagram: toshihikonishida



### MADZINE

台湾高雄出身のモジュラーシンセマニアでありサウンドデザイナー。独特のセンスで自然の中に数列を発見し、アコースティック楽器の様にモジュラーシンセを用いて即興演奏を行う。台湾と日本のアンダーグラウンドシーンを往来して育かれた彼とそのサウンドは、韓国、ドイツ、チェコ、フランス、ポーランド、オランダなどにも招聘され国境を超えて活躍している。  
Instagram: mmmmmmmadman



### Rina Nakano

大分市出身。17 歳から 26 歳までアメリカで過ごし、大学で写真とアートを勉強。その後別府の清島アパートで 2 年半滞在制作をする。台湾や京都での滞在制作後、ベルリンに拠点を移し主に写真とパフォーマンスで制作を続ける。23 歳でパフォーマンスアートについて学んだ後、路上で聴診器を使い心拍を聞き合うパフォーマンスを開始する。ベルリンではサウンドアーティストとのコラボレーションなどを通じ、心拍をスピーカーから流す手法に展開している。  
instagram: rinanakanofoto